



平成23年4月1日

各位

上場会社名 株式会社トーセ
 代表者 代表取締役社長 齋藤 茂
 (コード番号 4728)
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 渡辺 康人
 (TEL 075-342-2525)

平成23年8月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想の修正 及び貸倒引当金の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年10月8日に公表いたしました平成23年8月期(平成22年9月1日～平成23年8月31日)の第2四半期累計期間の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせするとともに、下記の貸倒引当金の計上がありますので、その概要をお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,660	△21	△5	△21	△2.83
今回修正予想(B)	2,416	63	72	41	5.55
増減額(B-A)	△243	84	77	62	
増減率(%)	△9.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年8月期第2四半期)	1,632	1	2	△15	△2.04

平成23年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,369	△14	3	△7	△1.02
今回修正予想(B)	2,107	17	39	△53	△7.23
増減額(B-A)	△261	32	36	△46	
増減率(%)	△11.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年8月期第2四半期)	1,392	14	30	△4	△0.65

修正の理由

(1) 平成23年8月期第2四半期累計期間

ゲームソフト開発事業及びモバイル開発事業におきまして、顧客であるゲームソフトメーカーやコンテンツプロバイダによる開発内容や契約形態の変更による開発スケジュールの変動が多数発生し、第3四半期以降に開発完了時期が変更となるタイトルが複数発生する見込みです。その結果、上期よりも下期において多くの売上を計上する予定であった当初売上計画と比較しても、より一層下期に売上が集中する傾向が顕著となり、開発売上につきましては、当初予想を下回る見込みです。ロイヤリティ売上につきましては、ゲームソフト開発事業におきまして、前期に開発完了した大型タイトルにおいては前期中にロイヤリティ売上のほとんどを計上したことから、当第2四半期連結累計期間に大きく売上を計上することができるタイトルが少ないと計画していたものの、海外向けを中心としたニンテンドーDS向けタイトルにおいて想定以上に売上を計上することができる見込みです。また、パチンコ・パチスロ関連においても、前期において開発完了したタイトルがなかったため、当第2四半期連結累計期間では売上を計画していなかったものの、前期以前に開発を完了したタイトルの売上を計上することができる見込みです。

ロイヤリティ売上は好調であるものの、開発売上は想定を下回る見込みであることから、売上高は当初予想を下回る見込みです。

また、下記のとおり貸倒引当金繰入額を計上いたしますが、ロイヤリティ売上が計画を上回る見込みであることに加え、全社的に進めてきた各プロジェクトにおける作業の効率化により開発原価を抑制し、加えて積極的に経費削減に取り組んだ結果、連結業績におきましては、営業利益、経常利益、第2四半期純利益ともに当初予想を大幅に上回る見込みです。

個別業績におきましては、連結業績同様、売上高は当初予想を下回り、下記のとおり貸倒引当金繰入額を計上いたしますが、営業利益、経常利益は当初予想を大幅に上回る見込みです。しかし、当第2四半期累計期間において、持分法適用子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、将来的な減損リスクの回避を目的として、健全性の観点から投資損失引当金53百万円を計上することといたしました。なお、これは連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。これら特別損失を計上することにより、第2四半期純利益は当初予想を下回る見込みです。

(2)平成23年8月期通期

平成23年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年10月8日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

平成23年3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」により、発売して間もないニンテンドー3DS本体やゲームソフトに関するプロモーション活動への障害の発生や、ユーザの消費や娯楽に対する自粛ムードなどの影響が懸念されます。当社グループでは、東京開発センターと子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズの営業を一時停止しましたが、現在は営業を再開しており、東京の業務を京都に移管して通常に近い状態で稼働できる体制を備えております。しかし、今後顧客であるゲームソフトメーカーやコンテンツプロバイダの販売戦略の見直しも見込まれ、これらの及ぼす影響が現時点では不明であることから、通期連結業績予想は据え置いております。今後重大な影響が見込まれる場合は、速やかにお知らせいたします。

●貸倒引当金繰入額の計上について(連結及び個別)

(1)貸倒引当金繰入額の対象債権の種類及び金額

・債権の種類	売掛金
・金額	25百万円

(2)貸倒引当金繰入額計上の内容

取引先の信用不安などに伴い、一部の売掛金の回収に懸念が生じたため、会計原則に従い、連結業績、個別業績ともに25百万円の貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上いたします。

なお、当社グループといたしましては、売掛金の回収に全力を挙げて対応する所存です。

※なお、本資料に記述されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスク及び不確実性を包含しております。実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上